

このスポット・おすすめ!

手作りがあたりか海近のカフェ&バル
Venice Beach Cafe & Bar
 ベニスビーチカフェ&バル



モーニングもランチも幅広いメニューを用意。店のベニスビーチといえば、アメリカ西海岸を代表するサーフスポット。オーナーの儀間若樹さんは2年間のアメリカ滞在時、陽気で個性的な街の雰囲気が気に入って、そのイメージを再現したお店を昨年10月にオープンしました。料理は仕込みからすべて手作りにこだわり、コーヒーは数種類の生豆をブレンドして焙煎したオリジナルです。モーニングもランチもテイクアウトOKなので、気軽に利用してもらえたら嬉しいです。

儀間さんは洋食レストランの料理長を長く務めた他、ポーボーイからバーテナーまで幅広いジャンルで経験を積み、さまざまなメニューの種類は実に豊富。例えばランチを見て、ロコモコやカレー、タコライスポウルをはじめ、黒板で「本日のパスタプレート」「丼もの」などが登場。モーニングの主役のサンドイッチは、カリフォルニアを感じさせるポリコーミーな一品がそろっています。

メニューには常時なくても、常連客に評判が高い手のひらサイズのキッシュなど、出会えたらラッキーな希少な料理もスタンバイ。「開店してちょうど1年。今は皆大変な時期ですが、一緒に頑張っていきたいと思います」と儀間さんは笑顔を見せ、夜のバルの営業開始を見据えて、真心込めた料理をつくり続けています。

住所：読谷村都屋377-4
 電話：098-800-1545
 営業：7:00~17:00
 休み：月曜日
 駐車：あり
<https://www.vbcb-oki.com>
 【おもなメニュー】
 ●ランチメニュー
 本日のランチプレート.....980円
 本日のパスタプレート.....980円
 ロコモコハンバーグライスポウル...780円
 テンカカレープレート.....680円
 ●サンドイッチ
 V.B.C.B.(ベニスビーチ).....630円
 サンドイッチエコ.....600円
 ロサンゼルス.....790円



Fresh WINDS

人と人のつながりを大切に...池原建設が大切なお客様にお送りする手作り広報誌

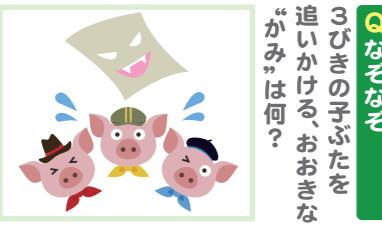
Fresh Winds
 2020年
 11月号
 Vol.194
 2021
 TOKYO 2020
 OLYMPIC



読者プレゼント

このスポット・おすすめコーナーで紹介の『Venice Beach Cafe & Bar』で使える

2,000円分
お食事券
 3名様



10月号当選者 前号の答え(お答)

- ★アンドリュー・利亞夢ケンさん(読谷村在住)
- ★比嘉修さん(嘉手納町在住)
- ★比嘉京子さん(読谷村在住)

ワイワイ広場

読者プレゼント応募方法

宛先
 読谷村字伊良智237-1
 ウィンズ
 『広報誌係』

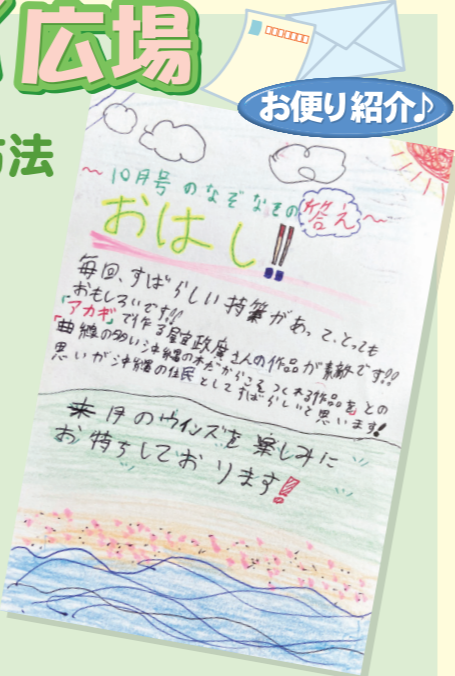
①住所 ②氏名
 ③年齢 ④職業
 ⑤電話番号

⑥なぞなぞの答え
 ⑦ご意見
 ⑧ご感想

応募者の中から抽選で、読者プレゼントを進呈致します。どしどしご応募下さい!

締め切り
2020年11月20日消印有効
 「当選者は次号(Vol.195)にて発表致します」

『Fresh WINDS』は、建築でお手伝いをさせて頂いた施主様をはじめ、地域にお住まいの方など、ご縁をいただいた皆様に配布致しております。諸事情により配布不要となった際は大変お手数ですが、その旨ご連絡下さい。(ウィンズ広報誌係)



Check
 ウィンズのHP・スタッフブログ



(株)池原建設 企画事業部 ウィンズ
 〒904-0303 沖縄県読谷村字伊良智 237-1
 営業時間 / 9:00~18:00 (年末年始を除く)

住宅のメンテナンスや補修等のご相談は、お気軽にスタッフへお声掛け下さい!
0120-229-512 ウィンズ 池原建設 検索

読谷村想い合ち手作りマスク1000人プロジェクト

読谷村在住の中村喜美枝さん親子から、300枚の手作りマスクの寄贈を受けたことを機にスタートしたプロジェクト。有志の皆さんから届いた手作り・市販マスクを、読谷村内で必要とする方や施設へ提供します。



受付先: 読谷村役場 1階 福祉課 tel. 098-982-9209

汗ばむ暑さが影を潜め、台風もそろそろ一段落。吹く風が心地よく、何をすることも静かに自分と向き合うには最適な季節です。秋といえばスポーツ、食欲、そして芸術。今月は中面特集で、芸術的な靴磨きを取り上げています。





Smile Vision!

同じ靴がまるで別物に。歩くことさえ楽しくなる。
靴磨き職人・仲程秀之さん「ピカピカの靴で人を笑顔に」



■仲程秀之さんは1980年沖縄市生まれ。仕事に取り組む上で一番のモチベーションの種は、「きれいになった靴を受け取った人の笑顔」。これほどまでにのめり込んだ靴磨きの道ですが、「自分の靴を磨いているときはまったく楽しくないんです(笑)」。

靴の手入れ専門の「SHOESHINE FACTORY Y(シューシャインファクトリー)」を2017年に立ち上げ、個人宅やオフィス、イベント会場に向いてサービスを提供している靴磨き職人の仲程秀之さん。「ピカピカの靴は人を笑顔にする」と話し、使い込まれた靴を次々とよみがえらせながら、正しい靴の知識の普及にも努めています。

靴がきれいになった 幸せな気分は 周囲に伝播する

「たったひとつの靴が人生を変えてしまうことだってあるの」。(b.v.シンデレラ)
私たち人間と靴は密接不可分な関係。毎日の生活を元から支えてくれると同時にファッション的な要素も備え、辞書を開けば靴にまつわることわざや名言が多数見つかります。また靴の愛好家の中には「靴磨き」にハマる人も多く、セレクトショップなどの専用コーナーをのぞいてみると、クリームやブ



■仲程さんの靴磨きはライブ感が一つの特徴ですが、靴の状態によっては一時お預けとなる「入院」が必要なことも。ウィンズ取材スタッフNの履き込んだ革靴も、ご覧のように生き返りました♪

ラシ、布クロス等々、お手入れグッズがズラリと並んでいます。

その靴磨きを生業にしているのが「SHOESHINE FACTORY」代表の仲程秀之さんです。個人宅やオフィスに向いて靴磨きを行う他、さまざまなスポットに出向いてイベント&ワークショップを積極的に実施。一人一人の要望や靴のコンディションに合わせて施術内容を提案し、最高の状態に仕上げてください。

「程度の差こそあれ、靴がきれいになって喜ばない人はいないと思うんです。出会った人を笑顔にするお手伝いができるわけだから、なんて幸せな職業なんだと実感しています」。

作業時間は1足1時間程度。男性用のビジネスシューズに限らず、女性ものだってもちろんOKです。むしろファッションアイテムとして靴にこだわりを持つ女性が多いので、お気に入り靴が美観を取り戻していく様子を目の当たりにすれば、美容院でヘアメイクがバッチリ決まったときのように気分はたちまち高揚

するでしょう。「精神論を説くつもりはないけれど、靴を磨けば単純にきれいになるので気分が良くなり、周囲にもその好印象が伝わる。そんな具合に、幸せな気分が広がっていくことが、靴磨きの大きな魅力の一つだと思っています」。



■一足ずつ異なる靴の履歴を読み取り、いかに最適な磨き方を見つけれられるかは職人としての腕の見せ所

きつかけは アパレル時代に始めた アフターサービス

「靴を磨きなさい。そして自分を磨きなさい」。(b.v.オルガ・ベルルツェイ)
仲程さんが本格的に靴磨き職人の道歩み始めたのは2014年。当時勤務していたアパレルショップで紳士靴の販売を担当し、アフターサービスの一環として

靴磨きを取り入れたのがきっかけでした。単純に「靴をピカピカに手入れして長持ちさせる」テクニクの習得に面白さを感じると同時に、前述した「目の前にいる人を笑顔にできる」ことに今までにないやりがいを感じ、すっかり靴磨きの虜に。そして今や仲程さんのキャッチコピーでもある「俺、靴磨きます」と題するイベントを企画したところ、予想を上回る大盛況。ますます探究心が触発され、独学で技術と知識を極めて2017年に独立を決定しました。

店舗を構えず、依頼先まで出張するスタイルにしたのは、「靴磨きの一連のプロセスに、エンターテインメント性があると分かったから。見て楽しんでくれる人が多いのならば、公開しない手はありませんからね」。

靴磨きの経験がある人はお分かりかもしれませんが、作業中とはかく無心になれます。「上達のためにはひたすら数をこなさないと」と説く仲程さんとしてそれは同じこと。靴の状態をつぶさに確かめるように、クリームを直接指で取って丁寧に塗り込み、一心不乱に磨き上げていきます。それでも「一足として同じ



■お気に入りの靴を自分で手入れしながら長く愛用できるように、靴磨きのワークショップを不定期で開催

ちょっとした知識だけで 履き心地が格段に向上

「安い靴は不経済だからね」。(b.v.トニー・ブレア 英元首相)
靴磨き職人としての仲程

さんの強みは、アパレル勤務時代の経験を生かし、服と靴とのコーディネート提案ができること。さらに正しい靴のサイズの選び方・履き方もレクチャーしてくれるので、靴磨きによって美観が増すだけではなく、履き心地も格段にアップします。

「当たり前ですが、どんな靴だって歩きやすさを考えて作られています。でも残念なことに、きちんとした靴の知識を得る機会はなかなかないと思うので、せめて靴磨きを通じて出会った方々には伝えていきたい」と。

今回の取材にあたり、ウィンズ取材班も仲程さんに1足ずつ施術を依頼したのですが、まるで魔法にかかったように、ついさっきまで履いていた靴がまるで別物。光沢のよみがえった靴を見れば、テンションが上がり、するりと足を通せば自然と背筋が伸び、クッションの効いた新鮮な履き心地に歩くのが楽しくなります。

「人の住まなくなった家は劣化が早いとはよく言いますが、それは靴も同じこと。使いながら手入れをすることで強度が保たれ、徐々に足になじんでくるとともに艶にも深みが生まれ、新品のとき

以上に魅力が増していきま



■北中城村のカレー喫茶で今年10月に行ったイベントの様子。靴を扱う軽やかな手さばきは見てのだけでも楽しめます

SHOESHINE FACTORY 靴修理サービス
詳細はFacebookより →